

第11回 地域産業支援プログラム表彰事業
(イノベーションネットアワード2022)
全国イノベーション推進機関ネットワーク 堀場雅夫賞

企業に伴走、四半世紀
～智慧の結集で地域の未来を拓く～

岡田 基幸



産学官連携支援のARECの立ち上げから運営まで、主に長野県東信地域の産業振興に携わり25年目。現在は、製造業支援、就職・採用、女性の創業、大学発ベンチャー、商店街・地域スポーツ、観光・UIJ・移住、留学生・特定技能、次世代農業、広域連携等、現場人として幅広く実践。1971年大阪生まれ <https://okada.st>

【岡田基幸 略歴】（1971年 ／ 大阪市生まれ）

1994年 ／ 信州大学 繊維学部 精密素材工学科 卒業

1996年 ／ 信州大学大学院 工学系研究科 博士前期課程 修了

1997年 ／ 上田市役所 入所（商工課配属）（～2011年 退職）

（2001～2004年 財団法人 長野県テクノ財団へ出向）

（2004～2011年 財団法人 上田繊維科学振興会へ出向）

1999年 ／ 信大大学大学院 工学系研究科 博士後期課程 修了（工学博士）

2005年 ／ JANBO Awards 2004 新事業創出支援賞（個人）

2009年 ／ 第1回イノベーションコーディネーター大賞 文部科学大臣賞（個人）

2010年 ／ 信州大学 特任教授（産学官地域連携）（継続）

2010年 ／ JST 産学官連携ジャーナル 編集委員（現在は特派員として編集会議に出席）

2011年 ／ 財団法人 上田繊維科学振興会 理事（2013年4月に一般財団法人に移行）

2013年 ／ 一般財団法人 浅間リサーチエクステンションセンター（AREC）

専務理事・センター長（継続）

2016年 ／ 東信州次世代イノベーションセンター センター長（継続）

2020年 ／ 上田信用金庫 監事（継続）

社会で活躍する博士号取得者

財団法人上田繊維科学振興会の理事兼AREC¹事務局長の岡田基幸さん（専門分野：高分子化学）は、工学博士号取得という経歴を活かして、産学官連携コーディネータとして活躍中。科学技術振興機構が平成21年度に創設した「イノベーションコーディネータ表彰」で、第1回イノベーションコーディネータ大賞・文部科学大臣賞を受賞した。受賞理由は、「長野地域における産学官連携支援施設『AREC』を立上げ、産学官のネットワークを構築。ここを拠点として多くの事業化を推進し、若手コーディネータの模範となる抜きん出たリーダーシップを発揮した」というもの。上田市役所職員の経験を持つ岡田さんは、「工学博士の知識は、市役所職員の通常の仕事には直接関係ないかも知れないが、大学と企業・行政をつなぐコーディネータの仕事には有意義なもの」と語る。

AREC (浅間リサーチエクステンションセンター)

①産学官連携 ②人材確保・育成 ③起業支援

特徴／ 地方都市・活動25年目・会員320社/100団体・自助独立



信州大学 繊維学部内 レンタルラボ

AREC18室 Fii42室 植物工場5室 OVIC18室 全て満室

AREC (浅間リサーチエクステンションセンター)



AREC全景



ミーティングルーム 3室



交流スペース



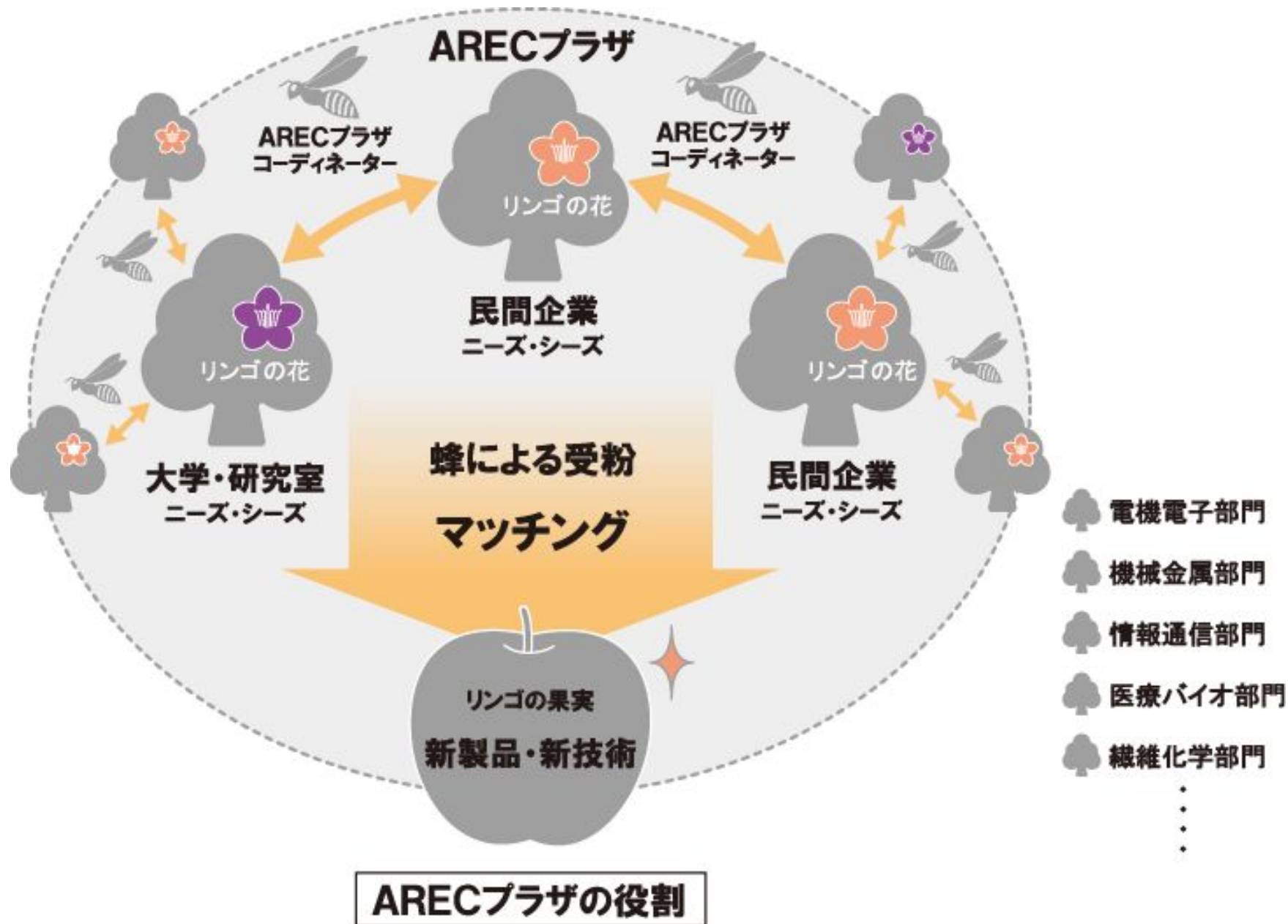
共同研究室 18室

AREC入居企業 14社 (20年満室)

- レンタルラボ 機能
- インキュベーション 機能
- 第二創業 支援

AREC会員企業

320社 100団体 (2000年36社)



産学官連携・産業振興・地方創生に関する受賞歴

2005年 ／ 中小企業組織活動懸賞レポート 本賞(個人)

2005年 ／ JANBO Awards 2004 新事業創出機関賞(AREC)

2005年 ／ JANBO Awards 2004 新事業創出支援賞(個人)

2007年 ／ Japan Venture Award 2007 地域貢献賞(AREC)

2008年 ／ 日刊工業新聞社 第3回モノづくり連携大賞 特別賞(AREC)

2009年 ／ 第1回イノベーションコーディネーター大賞 文部科学大臣賞(個人)

2013年 ／ ものづくりNAGANO 2013 特別賞(AREC)

2014年 ／ 第3回地域産業支援プログラム表彰 優秀賞(AREC)

2015年 ／ 長野県知事表彰(産業功労)(AREC)

2018年 ／ 中小企業組織活動懸賞レポート 本賞(共著)

2022年 ／ 全国イノベーション推進機関ネットワーク堀場雅夫賞(個人)

東信州10市町村広域連携による地域新産業創出へ (上田市、小諸市、佐久市、千曲市、東御市、坂城町、御代田町、立科町、長和町、青木村)

東信州次世代
イノベーションセンター

産学連携・研究開発事業 / 人材確保・人材育成 / ネットワーク強化 / 地域ビジョン / 産業集積マップ / 中核企業紹介

NEXT GENERATION INNOVATION



TOPICS

一覧を見る

2020.11.19

第9回 産学交流ラウンジのご案内

2020.11.19

「CAE、シミュレーション、仮想空間…」

2020.11.11

「第4回 #オンラインdeサロン」のご…

2020.11.05

東信州次世代

イノベーションセンター紹介

東信州地域に集積する技術や地域特産を軸とし、産業官連携を核とした地域内での次世代産業創出に資する事業を推進するとともに、次世代産業創出による地域産業の活性化を目指す。平成28年7月に東信州エリア10市町村（上田市、小諸市、佐久市、千曲市、東御市、坂城町、御代田町、立科町、長和町、青木村）で構成する東信州次世代産業振興協議会を設立しました。

東信州地域は、中核都市のよき飛び抜けた大都市ではないが、お互いの危機意識を共有し、広域連携による全国トップレベルの産業振興を目指していくものであり、このような事例は全国的にも、先駆的なモデルケースとなりうる存在であります。

アフターコロナ、ウィズコロナでの地域産業振興は
これまでとは全く異なる局面に。

「地域ビジネスプロデューサー」の活躍がさらに重要になる。

ビジネスプロデューサーとしての要諦5か条

- ①「理念、覚悟、執念」+「(突破力)+スルー力」+「伝播力」
(ネットワーク力//タフ・スタミナ・野次馬根性・度胸・気迫・愛嬌・運・カラ元気・作り笑顔)
- ②「地方・地域での多発するゲリラ戦を勝ち抜いて、ポジションを掴む」
(PDCAサイクルの高速化)
- ③「『仕組み』の前に、『仕掛け』と『仕込み』」
- ④「トッププル、ボトムアップ、資金集め を 一人でする気概」
- ⑤「ゼロを1にできたなら、1を1000にするのは容易。
小さな取組の中にいつか世界が見える。と信じる」